

# 1. 平成21年度事業報告書

財団法人 国際青少年育成振興財団

## 事業の概要

青少年教育・育成に携わる団体の果たす役割が、ますます重要性を深める中で、家庭と地域と学校が一体となって取り組む、いわゆる学社融合教育が大きく取り上げられようとしている。

本財団は、<sup>げんこん</sup>現今の社会・教育が直面する様々な課題を認識しながら、厳しい財政状況のもとではあるが、主として青少年を対象とした事業活動に力を注いだ。

### 1. 青少年の地域における社会教育活動の実施

#### (1) 国際わいわいクラブの開設

家庭や地域の協力を得て、地域の子供たちに遊びと触れ合いの場を提供し、身近に住む外国人（家族や留学生を含む）を、積極的にクラブの活動に迎えて、様々な体験を積みながら、世界に通用する子供、創造性、自立心を身につけた健全な青少年の育成を目指す事業です。ボランティアたちの積極的な活動に支えられて、所期の目的を達することができた。

#### ア. 国際わいわいクラブ埼玉支部<2009>

埼玉県の大宮カントリークラブ及び NPO 法人 日本ジュニアゴルファー育成協議会の全面的な協力を得て、東京都・埼玉県を始め多くの子供たちを対象に開設した。

主 催 財団法人 国際青少年育成振興財団

協 力 NPO 法人 日本ジュニアゴルファー育成協議会  
株式会社 大宮カントリークラブ

期 間 平成21年4月26日～平成22年3月28日 全8回  
※第7回 平成22年2月11日は、悪天候の為中止。

場 所 埼玉県さいたま市 大宮カントリークラブ  
わいわいパーク、くれないコース、清心館 延べ187名

### 2. 青少年の地域における国際交流事業の実施

留学生との交流活動 <留学生の学校等派遣事業>

今年度も(独)日本学生支援機構 東京日本語教育センターと連携し、小中学校における総合的な学習カリキュラムへの対応として、学校の要請に基づき、国際理解教育の場へ留学生（就学生を含む）を派遣し、効果的なプログラムを実施した。

実施時期	平成21年6月～平成22年3月
派遣先	東京都内公立小・中学校 9校 延べ14回
国別数	19カ国
派遣人員	延べ132名

3. 青少年の社会教育活動事業等に対する助成

本年度は、実施しなかった。

4. 青少年の生涯学習に関する調査・研究

本年度は、実施しなかった。

5. 青少年の生涯学習の振興に貢献した者の顕彰<sup>けんしょう</sup>

本年度は、実施しなかった。

6. 機関誌及び資料等の刊行

機関誌(紙)については、本年度は、発行しなかった。

7. その他の事業

(1) 財団案内リーフレット(和文版)の作成は、次年度に繰り越しとした。

(2) インターネットホームページの更新及び関係諸団体・機関と情報交換を行うなど、効果的運用に努めた。

以 上